

公益財団法人三甲美術館

2017.  
10.6(Fri)

# ドビュッシー 弦楽四重奏コンサート

《共演：シャオ・ロン - 邵容 - 中国琵琶》

## 《ドビュッシー弦楽四重奏団 Le Quatuor Debussy》

クリストフ・コレット	-Christophe Collette-	第一ヴァイオリン
マルク・ヴィエユフォン	-Marc Vieillefon-	第二ヴァイオリン
ヴァンサン・ドゥプレク	-Vincent Deprecq-	ヴィオラ
セドリック・コンション	-Cedric Conchon-	チェロ



## PROGRAM

ショスタコーヴィチ『アダージョ』  
 タン・ドゥン『琵琶と弦楽四重奏のための協奏曲（1999年）』  
 ラヴェル『弦楽四重奏曲』

開場 / 13 : 00 開演 / 14 : 00

会場 / 三甲美術館大広間

入場料 / 予約 2,000円 当日 2,500円  
(入場料込み、全席自由)

ご予約 / 三甲美術館

Tel 058-295-3535 Fax 058-232-5130

※お名前・予約人数・電話番号をお伝えください。

SANKO MUSEUM  


# ドビュッシー弦楽四重奏団 Le Quatuor Debussy

- クリストフ・コレット -Christophe Collette- (第一ヴァイオリン)
- マルク・ヴィエユフォン -Marc Vieillefon- (第二ヴァイオリン)
- ヴァンサン・ドゥプレク -Vincent Deprecq- (ヴィオラ)
- セドリック・コンション -Cedric Conchon- (チェロ)

ドビュッシー弦楽四重奏団は1990年、フランスの「コンセルヴァトワール・ド・リヨン(リヨン国立高等音楽・舞踏学校)」に学ぶ若い音楽家により結成され、刺激に満ちた演奏や数々の賞を獲得したレコーディングにより、現在国際的な名声を得ている。4人はニューヨークから日本の東京、大阪に至るまで、世界の主要なコンサートホールを舞台に幅広い演奏会集を行っている。カルテットの名を広めるのにもっとも貢献したのは、そのフランス音楽への傾倒である。4人の手になるラヴェル、ドビュッシー、フォーレらの四重奏は、特に高い評価を得ている。さらに彼らは、ラロ、ルクー、ミヨー、後期ロマン派のエルマン・ボナールといった同胞たちの作品を手がけることで、新たな聴衆を開拓し続けている。

エヴィアン国際弦楽四重奏コンクールで優勝し、ヨーロッパ、アジア、北アメリカの各地で、年間80回ほどのコンサートを開いている。また、傑出したコンサートホール(アムステルダム、ジュネーブ、ベルリンのコンツェルトハウス、パリのシャトレ座やルーブル美術館)にたびたび招かれ、ヨーロッパでもとりわけ名高い音楽祭の数々に出演している。

著名な演奏家と室内楽の共演のみならず、近年大きな注目を集めているモダンダンスのグループ「カンパニー・カフィグ(演出・振付はムラッド・メルズキ)」を巻き込み、野心的なコラボレーションも実現させている。これはコンサートにおいて、踊るダンサーの傍らで各自の楽器を演奏するもので、演奏を演出の一部に組み込んだ新しいプロジェクトである。

演奏録音は幅広いジャンルに及び、デッカ・レコードからリリースされたモーツァルトの「レクイエム」は、特に画期的音源として特筆に値するものである。これは1802年にピーター・リヒテンターが編曲した版をもとにしている(この仕事については、ドキュメンタリー映画も製作されている)。アリオン・レーベルからは「フランス音楽コレクション」と銘打たれたシリーズ(ボナール、ラヴェル、フォーレ、ワイトコフスキー、ルクーなど)に加え、ショスターコヴィチの四重奏曲全集や、そのほかさまざまな楽曲がリリースされている。

室内楽のレパートリーのなかでも、ブラームスやウェーバーのクラリネット五重奏曲を収めたCDはきわめて高く評価されている。この録音には、クラリネット奏者のジャン＝フランソワ・ヴェルティエが参加している。

さらに4人は、ピアニストのフランソワ・シャプランとともに、モーツァルトのピアノ協奏曲の多くを手がけており、そのCDはリスナーから歓呼をもって迎えられている。ほかに、ウェーベルンの弦楽四重奏曲全集(ハルモニア・ムンディよりリリース)、『ル・モンド・ドゥ・ラ・ムジーク』誌の「ショック賞」を得ている。

フランスのリヨンが彼等の活動の拠点で、南仏で開かれる弦楽フェスティバル「レ・コルド・オン・バラド」と、同地の「弦楽アカデミー」を創設し、毎年、そこで演奏や指導を行っている。

## シャオ・ロン - 邵容 - (中国琵琶)

国立北京中央音楽学院卒。人間国宝級の劉徳海に師事。上海芸術祭で優秀芸術賞を受賞。東京芸術大学に留学。日本文化庁派遣によりアメリカ諸都市及び国連にて世界で唯一現存する正倉院宝物五弦琵琶(復元)で演奏(NHKでも放送)。日本フィルハーモニー交響楽団によるタン・ドゥン作曲のオペラ「マルコ・ポーロ」公演のソリストとして出演。2009年と2010年世界PENフォーラムで中国ノーベル賞作家莫言の《秋の水》と《牛》の作曲・演奏を担当。

- 2009年 タン・ドゥン作曲「琵琶協奏曲」ミュンヘンフィルハーモニー交響楽団と共演。
- 2010年 ヤナーチェク弦楽四重奏と共演。
- 2011年 ジョルジュ・エネスク国際音楽祭でエネスクフィルハーモニーと共演。
- 2012年 JFC50th「Asian Music Festival2012」に出演。
- 2013年 チェコフィルハーモニーと共演。
- 2014年 タンドゥン新シルクロード音楽地図交響曲五弦琵琶で世界初演。
- 2015年 NHK世界遺産ドリームツアー五弦琵琶で出演。ヤナーチェク四重奏と再演。
- 2016年 中国国家文化、科学功労者受賞式典で出演。

蘭、蘭II、王朝音楽のみやび「正倉院五弦琵琶」、藤壺「NHK出版」ASIAN MUSE、緑、DVD千年幻音、中国琵琶入門等、多数の作品をリリース。

### 《当日のお願い》

- \*入館は中学生以上に限ります。
- \*開場時間より前にはご入館いただけませんのでご了承ください。
- \*館内への飲食物の持ち込み、及び館内での喫煙・撮影・録音はご遠慮ください。
- \*当日は坂の上の第二駐車場をご利用下さい(約70台)。数に限りがございますので、できるだけ乗り合わせてお越し下さい。
- \*入場はご予約の方を優先させていただきます。当日お越しの方は、お席に空きのある場合のみご入館いただけます。
- \*お支払いは当日のみとさせていただきます。
- \*開演後の入室や途中退室はご遠慮ください。

### 交通のご案内

- お車で越しの場合  
岐阜環状線長良東1の交差点で東(地図→方向)に直進。
- バスで越しの場合  
(JR=13番/名鉄=4番乗り場)  
岐阜駅前から岐阜バス「おぶさ」行き乗車「サンライフ岐阜前」下車徒歩5分。



〒502-0071 岐阜県岐阜市長良3533-26  
TEL 058-295-3535 FAX 058-232-5130  
http://www.sanko-museum.or.jp

